

広報

広報

いまり

昭和54年8月19日
毎月1日発行 定価1部20円 昭和54年7月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.305

会議感で合ひ話すいじこり文▲

・食会議感(いじこり)

会議感	会議感
会議感	会議感

いじこり文は、土産の貢賀内山
会議感の運営計画、ウタ歌の頃
の活動を記録の会議感

市役所では、市民の意見を取

会議感(いじこり)文
昭和54年8月号

さんさんと降りそそぐ夏の太陽のもと、
子供たちが水遊びに戯れています。
これから夏休みを迎ますが、事故がな
いよう、みんなで見守ってやりましょう。

“わが子への愛を世界のどの子にも”

'54

7月

文化づくり・都市づくり懇話会が発足

広く市民の意見を聞き「豊かで、住みよい、生きがいのある都市づくり」を展開するために、市長へ提言する「文化づくり懇話会」と「都市づくり懇話会」が発足しました。市民の声を市政に生かす懇話会の活躍が期待されます。

文化づくり懇話会 6月8日発足

文化行政の当面する課題や今後の発展方向などの提言を受け市民の意見が反映された文化による郷土づくりを行うために設けられたものです。

文化財保存、郷土芸能の継承などを地域活動の核とした文化による郷土づくりと、市民の文

・文化づくり懇話会会員。

氏名	所属団体等
一ノ瀬繁夫	伊万里西ロータリークラブ
江口和夫	小中学校校長会
江頭順二	トンメント祭り奉賛会
川副範治	観光協会
北川栄二	文化連盟
古賀旭子	図書館友の会
古賀稔康	松浦党研究連合会
曾我昭則	青年会議所
松本進	子どもクラブ連合会
千葉健史	伊万里ロータリークラブ
松瀬ふじ	婦人連絡協議会
山口房一	郷土史研究会
吉原政隆	連合青年団
橋渡一孝	伊万里ライオンズクラブ

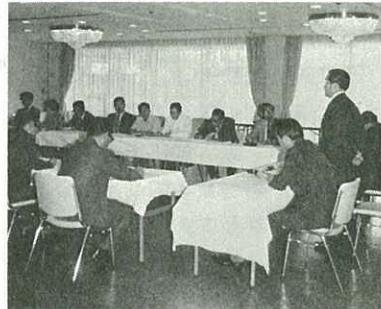
化的資質の向上をはかる文化施設の建設や、文化行事の開催など、伊万里文化の創造を積極的に行うために意見を聞きます。

懇話会は文化連盟などの関係団体の代表者14名により構成されており、座長には古賀稔康さんが選ばされました。

都市づくり懇話会 6月11日発足

市街地の施設整備や将来における都市像のあるべき姿などについての提言を受け、市民の意見が反映された機能的な都市づくりを行うために設けられたものです。

都市機能の充実をはかるため国鉄駅周辺の再開発や公共駐車場の整備など、真の中核都市伊万里の実現をめざすために、広



▲文化づくりを話し合う懇話会

・都市づくり懇話会会員・

氏名	所属団体等
池永栄二	商工会議所
太田明二	伊万里西ロータリークラブ
川久保妙子	婦人連絡協議会
斎藤正雄	区長会連合会
田中耕太郎	連合青年団
長野正	青年会議所
野中郁郎	国鉄
牧瀬一喜	自動車会社
吉田定	伊万里ロータリークラブ
吉富敬次	商工会議所
力武正男	観光協会
山元七次	伊万里ライオンズクラブ
本山貞夫	商店連合会

く市民の意見を聞きます。

構成員は商工会議所などの関係団体の代表者13名で、座長には力武正男さんが選ばされました。豊かな都市づくり推進に大きな期待が寄せられています。

に悩む人々に元気をつけることになればと、あえて隠そうとしたということがあります。何回も手術をし何回も立直り、その間大病を克服してアカデミー主演男優賞を獲得しているから、彼は偉大なガン・ファイターであつただけなく、がん(癌)に対しても偉大なファイターライフであつたといえ、ただに西脇劇の偶像だけではなくがん闘病者の偶像で、この面での何か賞でもあれば差しあげたいくらいである。どんなガンをも自由につかいで常に相手を斃してきて、たがん・マンも遂にがんに勝てなかつたのだから、がんがいかに恐ろしいものであるかがわかる。しかも、がんに対する制圧の方法がないとなれば、その死亡率が日本でも一位になるのはそう遠くない。そこで、闘病のがんファイターではなく、がんを絶滅する意味での医学におけるファイターの出現が一日も早く望ましい。そういう人が出現すればジョン・ウエインのガンマンも、がんマニアがぶとをぬぐに違ひない。(竹)

省エネルギー

限りある資源を大切に

——エネルギーの9割は海外に依存——

ふんだんにエネルギーを使用することによって支えられ、高められてきた文化生活も、迫りくるエネルギーの不足時代に備え、真剣に対処するときがきました。

日本は石油をはじめエネルギーの約90%を海外にたよっています。特に石油は99.7%を輸入しており、生活のためのエネルギー需給の約70%をまかなっています。資源に乏しい、わが国としては文字通り、一滴たりとも石油はおろそかにはできません。

・エネルギー(石油換算)使用量



衣
1人1日当たり
牛乳びん 約1本分



食
1人1日当たり
牛乳びん 約5本分



住
1人1日当たり
牛乳びん 約6本分



その他
1人1日当たり
牛乳びん 約5本分

私たちの生活を守るためにも如何に効果的に用いていくかがいま私たちに課せられた重要なテーマであり、省エネルギー推進の意義なのです。

限りある資源を、ムダを省き経済的に上手に使いましょう。

節減に協力を

政府は、IEA(国際エネルギー機関)加盟各国の合意に基づいて、約5%の石油消費節減対策を実施しています。

市役所では、冷房の温度を昨年まで24℃にしていたのを28℃まで上げ、冷房期間も1カ月短縮することにしており、電気は窓側は点灯しないようにするなど、節減に努めています。

家庭生活で4割を消費

1人1日当たり牛乳びん17本分(石油換算)

私たちは、日常の生活でいったい、どれくらいのエネルギーを使っているのでしょうか。

科学技術庁が調査研究した試算によると、家庭生活を営む上

で、1人1日当たり牛乳びん約17本分の石油を使っている勘定になります。

牛乳びん約17本分の石油は、電気やガスなど直接使うエネルギーだけでなく、住居や衣服、食料品など生活必需品を作るのに使われた間接エネルギーも含めて、石油に換算したものです。

これをもとに、全国民が1年間に使う家庭用エネルギーを計算すると、国全体の年間エネルギー消費量の約4割にも相当します。効果的に使いましょう。

全世界の強い男の象徴といわれたジョン・ウェインが亡くなつた。ハリウッドではデューク(公爵)と呼ばれ、米国人からはラスト・アメリカンヒーローと言われただけつて、カーター大統領も最後の手術のあとで見舞にかけつけ、米下院では米国民に与えられる最高の名誉である金メダルを贈つたということである。

銃はgūganと発音し、病気の癌も「がん」というので、病気の方を平仮名で書くことにするが、それでも偉大なガン・マンががんに艱れ、しかもその遺作のラスト・ショーティスンマン役というから、日本語でいえばたたかうがんマントが、がんとたたかう老がんとも言つた。十数年前に肺がんで左肺を切除した時、周囲の者はそれを隠そうとしたが、ジョン・ウェインは自分が、がんとたたかう姿が、がんでもあつたことになる。



民生・児童委員協議会が設立

積極的な地域福祉活動に期待

市内の民生委員・児童委員が相互の連携を密にして、活動の強化をはかりうと、伊万里市民生委員児童委員協議会の設立総会が5月25日、大坪公民館で開かれました。

市内には129名の民生委員・児童委員の方がおられます、これまで横の連絡は、ほとんどとれていなかつたため、組織づくりによって活発な活動を推進しようと、協議会を設立したものです。

7月の市民会館行事予定

- 毎週金曜日 9時30分～15時 運転免許証更新時講習会
- 1日（日） 9時～12時 演劇「彦市ばなし」
- 3日（火） 12時30分～17時 獣猟免許試験（県環境整備課）
- 8日（日） 9時～17時 市婦人会文化祭（市婦人連絡協議会）
- 14日（土） 14時、18時開演 映画「子育てゴッコ」（15日は9時30分、13時開演）
- 29日（日） 13時45分開演 青少年芸術劇場「読売交響楽団演奏会」（市教育委員会）

国見台プール使用開始

- ▲期間 6月20日～9月10日
- ▲時間 9時30分～17時
- ▲休日 月曜日（ただし月曜日が祝日の場合は火曜日）

このような組織は、県単位はありますが、市町村単位では伊万里市が初めてで、積極的な地域福祉活動に大きな期待が寄せられています。

活動方針として

- ①相互協力による活動の強化
- ②委員の研修と行事の実施
- ③調査研究、資料、情報の交換
- ④関係機関、団体などとの連携などを決めました。

役員は次のとおりです。

会長	西 貫之	山代
副会長	大川内伊知郎	松浦
理事	田代繁八	伊万里
“	長野東守	黒川
“	樋口好次	波多津
“	田中辰起	大川
“	福田幸次郎	二里
幹事	斎藤勇	伊万里
監事	川添一	南波多
“	中島虎作	東山代

市の人口

（6月1日現在）

総人口	60,861人	(+39人)
男	28,843人	(+9人)
女	32,018人	(+30人)
世帯数	16,235世帯	(±0世帯)
市民課調べ、()は前月比		

5月

貿易額は33億6,900万円で、前月比16億3,600万円の増。実績は輸入のみで輸出はゼロ。

なお、当月の木材輸入額は開港以来の最高となりました。

輸入

33億6,900万円で前月比22億200万円の増。内訳は南洋材が29億9,900万円、米材3億3,500万円、船舶用品3,500万円。

船舶の入港

日本船7隻、外国船12隻（大韓民国2、パナマ9、リベリア1）の計19隻で前月と同数。

納涼 市民防火のつどい開催

7月28日 消防署前訓練場で

市消防署では毎月1日を「市民防火の日」と定め、市民の皆さんと消防とが一体となって火災予防に取り組み、災害のない安全な市民生活がおくられるようにつとめています。

今回は、皆さんと消防との連けいをいっそう深めるため「納涼市民防火のつどい」を開くことになりました。

皆さんに楽しんでいただける催しをたくさん用意しています

ので多数ご来場ください。

▲日時 7月28日（土）

午後6時～9時

▲場所 市消防署前訓練場

〔主な催し物〕

- ・消火競技大会
- ・はしご車試乗
- ・大声コンテスト
- ・カラオケのど自慢大会
- ・スイカ割大会
- ・空くじなし抽選会など
- その他、冷しソーメン・かき氷・トコロテンなどの飲食コーナーもあります。

青少年を非行から守ろう

第29回 社会を明るくする運動

今月は「社会を明るくする運動」が全国的に展開されます。

特に、今年は国際児童年といふこともあって、「青少年を非行から守る全国強調月間」の設定やその他、青少年の非行化防止に関する各種行事が7月に集中して行われます。

今月中旬からは学校も夏休みに入り、青少年にとって最も活動的になる反面、周囲が開放的になり、青少年の心もゆるみがちで、集団非行や事故が起ります。特に、最近めだつのは非行の低年齢化や少女の非行の増加で、遊興的な動機による万引きや、自転車・バイクなどの窃盗、シナーゲーリングなど

のほか、学校内での暴力事件も明るみにでています。

このような状況に対処するために、地域住民が手を取り合って、青少年を取りまく環境の浄化活動を展開しましょう



飲酒運転を追放しよう!!

飲んで乗る

あなたは天国
家族は地獄

町別飲酒運転検挙者数

(昭54.5.31現在 伊万里警察署調)

地区	1~4月	5月	累計
伊万里	1	1	2
大坪	1	1	2
牧島	7	0	7
立花	4	2	6
大川内	1	0	1
黒川	3	0	3
波多津	3	1	4
南波多	4	0	4
大川	1	0	1
松浦	0	1	1
二里	2	1	3
東山代	5	1	6
山代	3	5	8
(市外)	14	4	18
計	49人	17人	66人

歴史民俗資料館

地区展開催のお知らせ

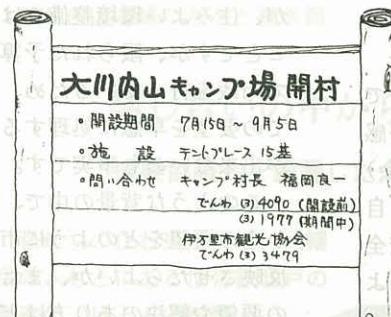
歴史民俗資料館では7月・8月に黒川町と波多津町の地区展を開催します。

期間は7月16日(月)から8月31日(金)まで、主な展示品として、黒川町、波多津町の歴史民俗資料や風俗習慣などの紹介。その他、市内各地から出土した陶片・焼物など常設展示品の一部も紹介します。

ご家族おそろいで、おでかけください。

- ・開館 平日9時~16時
- ・休館 日曜日、祝日
- ・入場料 無料

自然が呼んでいる



正しく納税 豊かなくらし

集合税第1期の納期は7月31日です

税金は、わたしたちが健康で豊かな生活を営むために欠く事のできない、いわば社会に納める会費のようなものです。

この税金によって道路や水道の整備、住宅の建設、災害の復旧などから社会福祉の充実にいたるまで、いろいろな事業を行

われています。

明るく住みよい町づくりのため税金に対する一層のご理解をお願いします。

本年度集合税の第1期納期は今月末です。2期以降も各月末が納期ですから納期内に指定金融機関で忘れず納めましょう。

あなたと 考える

市政への要

8月31日 記念式典開催



人々とのふれあいの中で
要望を聞く「青空市長室」

相互の信頼と協力で 快適で安全な環境づくり

は、——快適で安全な環境のもとでの経済的安定、精神的潤いのある豊かな生活を営むことは、市民一人ひとりの願いです。——

そのためには、市行政だけでなく、住民相互が信頼と連帯感によるコミュニティ(近隣社会)形成のもとに一致協力して、自然と生活関連施設や健康と安全の整備に努めることが、住みよい環境を実現するものです。

しかし、現実には時代の変遷に伴う人々の価値感の移り変わりに加え、関心は複雑、多岐になって、市政に対し道路をはじめ、住宅、上下水道、公園緑地など多種多様の生活環境整備の要望として高まってきています

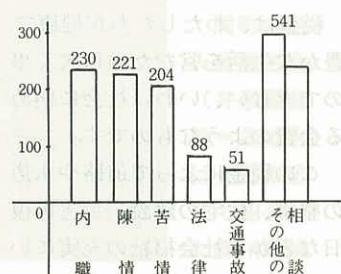
市民相談室が昭和53年度に受付した相談状況をみても、総件数1,335件(52年度=1,234件)と年ごとに増えており、内容も陳情、苦情が多く、加えて法律

相談などが増えてきています。

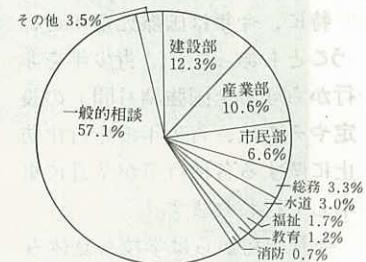
これらの要望を解決することが、住みよい環境整備をはかることですが、限られた予算の中で市政を行っているため、すべての要望を早急に処理することが出来ないのも事実です。

このような背景の中で、市民からの要望をどのように市政に反映させたらよいか、また、その要望や解決のあり方はどうあるべきかを、みなさんと一緒に考えてみましょう。

・昭和53年度相談受付状況・



・昭和53年度部門別相談受付状況・



親しまれる市民相談室 市民と市政のパイプに

市民の皆さんに親しまれる、市役所の窓口として設置した市民相談室も、今年で9年目を迎えすっかり市民の間に定着しました。

市民相談室は、市民と行政とのパイプ役として、また、積極的な情報の把握など広報・広聴活動を行い、市政に反映させる業務を主体としており、陳情・苦情・相談などの市政全般に、法律・交通事故・内職・高齢者職業相談などを担当しています。

相談内容で最も多いのは市政一般(72.3%)で、次いで内職相談となっていますが、前年度より倍増しているのは法律などの相談です。

これらの相談業務受付はカードを作成し、法律などの相談で個々の問題を除いたものは、担当課と協議を行い、内容によっては現地へ出向き、実情を調査するなどして、具体的な解決策を検討し処理を行っています。

望を見つめる

キャンペーン
シリーズNo.11

より効果的な広報・広聴活動を行うことは、市民の声をより市政に反映させることになります。そういった意味で市民と密着した広聴活動として、市民相談室の設置や青空市長室を開いています。市政への要望を見つめるとき、あなたはどのようにお考えでしょうか。

地域へ出向き実情を把握

広聴活動の「青空市長室」

人々との触れあいの中で、市政に対する意見や地域の実情を目と肌で体験し、市政に反映させようと、市長はじめ関係担当者が地域へ出向き、実態の把握と問題点の解決をはかる「青空市長室」を開いています。

これは、市民と直結した広報広聴活動を展開して円滑な市政を行うため、従来の「市民ロビーで市長と会う日」を、さらに発展させたもので、昨年8月から実施しており、現在まで大川町・波多津町・黒川町・松浦町・山代町の5町が終わり、残りの

町についても早急に行うよう計画を進めています。

青空市長室は、各町において事前に地域での問題点や市政に対する要望などを話し合い、検討をしていただき、それらの中から、どうしても市政に反映させてもらいたいものを報告していただき、地域の方々と視察箇



所や日程などを打ち合わせて実施しています。

現地では、市長に地域の人が直接に説明を行い、行政はその実情をつかんだうえで、問題解決の方策を総合的に検討し、指導・助言・援助・事業実施などあらゆる角度から市政に反映させています。

話し合いの中から問題解決へ

振興協議会を設置した大川町東田代部落

私たちの住む東田代は、八幡岳のふもとにある世帯数49戸の集落で、ほとんどが梨・みかんなどの果樹栽培や水稻栽培を営む農業です。

青空市長室で出向いて来られた市長さんや担当者の方に、山間という地形的条件の中で農業経営に努力しているが、今一步、農業振興を行う必要があるので、何とかしてほしい旨の要望をしました。市は、これから農業経営は地域の特性を生かし、営農類型の確立を図る必要があり



振興協議会長

松尾 貢さん

まず地域でどうしたらよいかを話し合うことが大切で、指導・

助言は惜しみなくするとのことでした。

その後、部落では何回となく、みんなで話し合う場をもち、新しい農村づくりに励もうと

「東田代振興協議会」を発足させました。

みんなが一致協力のもと、行政や農業団体の指導を受けながら、東田代の振興に日夜努力しており、振興策の青写真が出来たのも真近になりました。

相談開設

お気軽に市民相談室へ

市政全般の相談 毎日

法律相談 第3木曜日
(相談員=弁護士)

交通事故相談 第2、4火曜日
(相談員=県交通事故相談所職員)

内職相談 毎週水曜日
(相談員=田中寿美子)

消費生活相談 毎週月曜日
(相談員=松尾京子)

高齢者職業相談 毎日(土曜を除く)
(相談員=長尾三郎・原田八郎)

社会保険相談 毎週金曜日
(相談員=唐津社会保険事務所職員)

ありがとうあなたの善意

心あたたまる町の話題

～その6～

ふるさとの駅を清掃

自分たちの手で美しくと松浦中生徒会

松浦中学校（古川次男校長＝156人）の生徒会は、ふるさとを自分たちの手で美しくしようと、松浦町の玄関口にあたる、「桃川駅」と「金石原駅」の清掃を行っています。

実これは、8年前から続けられているもので、土曜日（月2回）の午後になると、自宅からホウキや除草道具を持って、近くの駅へ清掃に出かけます。

講生徒会長の中原貴徳君（3年）は、「先輩から受け継いでいるもので、清掃日は学年で分担して自主的に行ってますが、これからも伝統として、いつまでも続くよう後輩に受け継いでもらいたいと思います。」と語ってくれました。また、桃川駅の助役浦方定義さん（53歳）は、「松浦

中の生徒さんは本当にまじめにやっておられお客様も、よくされますねと大変感心されていました。先生がいなくともみんな一生懸命に清掃している姿を見ていると、学校での教育が徹底していることがうかがえます。」と感心され、感謝の気持ちでいっぱいでした。



▲桃川駅を清掃する松浦中学校の皆さん

美しい町への願いをこめて

南波多町の山崎ムラさん

南波多町井手野の山崎ムラさん（75歳）は、自分たちで作り備え付けたクズカゴにたまつたゴミを定期的に回収したり、国道沿いに散乱している空カンや空ビンを拾うなど町の環境美化のため奉仕しておられます。

同町の老人会福寿会（井手實会長＝380人）は先月の広報で紹介した黒川町婦人会から教

わった廃物利用のクズカゴを作り、町内の公民館やバス停、道路沿いに備え付け美しい町づくりを呼びかけています。

しかし、クズカゴがいっぱいになったまま放置されている事が多いため、3年前から山崎さんが回収作業を始めました。月に1～2回、5個のクズカゴのくずを回収しますが、道路沿いには車から投げ捨てられた空カン類も多く散乱しており、回収する時いっしょに拾っているとのことです。

山崎さんは、「ドライバーの方も美しい町づくりに協力してください」と言っておられます。

こうした善行をむだにしないようみんなで心がけましょう。



▲クズカゴにたまつた空カンを回収する山崎さん

いま伊万里で



「青空市長室」山代町で開催
災害危険箇所や鉱害復旧箇所などの
視察を行いました。(6/7)



青少年剣道大会(6/10)
場内はするどい気合いが響き、得意の竹刀さばきで「オーメン」



ミニバイクの安全運転競技会
最近婦人の間で大人気のミニバイク。
事故も多いため安全運転講習を兼ねた競技会が開かれました。(5/27)



大川保育園で園児の体力テスト
県下で初めて、記録走、ソフトボール投げ、敏しょう性などの体力テストが行われました。(6/5)



早起き野球・早朝ソフト開始
野球55チーム、ソフト121チームが参加、優勝をめざし8月まで熱戦が展開されます。(6/3・9)



少年相撲大会
決まり手は右下手投げ
チビッ子力士の大奮闘(6/10)



松浦町で婦人のゲートボール講習会 「こんなに面白いんだから、お年寄りが無中になるわけね。」と婦人たち。(5/29)

若い芽は 大きくのばそう 世界まで

J C 教室 開催

伊万里青年会議所は、市内の母子家庭、父子家庭、交通遺児家庭の方を招待して J C 教室を開いています。

今年は5月20日に佐世保プラネタリウム（星座）館、フィールドサーキットを訪りました。

J C（ジュニア&チャイルド）教室は5年前から開かれているもので、「若い芽は大きく伸ばそう世界まで」をスローガンに子供たちの心のふれあいの場をより多くつくり、明るく、のびのび育って欲しいという願いを

込めて活動が行われています。

また、7月28日・29日にはスマーキャンプも予定されておりこの時、協力していただくボランティアを求めています。

連絡は伊万里青年会議所（商工会議所内、電話③3616）へ。



▲フィールドサーキットで遊ぶ子供たち

保健コーナー

健康管理はあなたの手で

問い合わせ先：環境衛生課保健予防係 ☎ 3-2111内線 281・286

日本脳炎にご注意!!

日本脳炎は蚊が出てくる6月～8月にかけ多く発生します。症状は、突然38～40度の高熱がでて、ひどい頭痛がし、2～3日目には意識がなくなり、ケイレンを起こします。

これにかかると20～50%の人が死亡するという高い死亡率で治っても手足や口のマヒ、知能や言語の障害などの後遺症が30%も残る恐しい病気です。

日本脳炎にかかるためには、ビールスを媒介する蚊（コガタアカイエカ）の駆除することや、疲労が蓄積しないように適度の休養をとること、夏まけないように栄養のバランス

のとれた食事をとるよう心がけることが大切です。

三種混合予防接種

（百日ぜき・ジフテリア・破傷風）

▲対象者 2歳～4歳の幼児

▲日時 每月第2・第3金曜日
13時30分～14時30分

▲場所 市役所4階大会議室

▲接種方法

- 1期（1、2、3回目）
3～8週間間隔で3回接種
 - 2期（4回目）
1期終了後1年～1年半以内に1回接種
- ※母子手帳をご持参ください。

—郵便局だより—

◆転入、転出などで、住居を移ったら郵便局へも転居届けを出しましょう。届けないと大切な郵便が「迷子」になります。

◆暑中見舞用の絵入りはがき2種類が7月2日から発売されます。ご利用ください。

◆お年玉つき年賀はがきの賞品引きかえは8月4日までです。

おすすめの方は早目にお引き換えください。

胃の集団検診

▲対象者 40歳以上の方（胃の治療を受けている方、妊婦を除きます）

▲料金 250円

▲期日と場所及び対象地区

◦ 7月16日 松浦公民館

（桃川・提川）

▲受付 8時50分～9時30分

※前日の午後10時以降飲食物を口にしないこと。



子宮ガン検診

▲対象者 30歳以上の方（ただし、妊婦を除きます）

▲料金 250円

▲期日と場所及び対象地区

◦ 7月16日 松浦公民館

（中野原・山形・提川）

▲受付 13時～13時30分

一級・二級技能士訓練

通信講座

伊万里高等職業訓練校では、通信制による一級・二級技能士訓練の受講生を募集しています。

この訓練は職業訓練大学校の通信講座を利用して行うもので実務経験があれば、どなたでも受講することができます。また修了者には受講した訓練科目の技能検定学科試験が免除されます。

訓練期間は約1年で、受講の受け付けは随時行っています。

詳しくは伊万里高等職業訓練校（☎⑧0155）へ。

亡母アヤ子）
・古谷幸男（大川町宿
・児島隆暢（山代町楠久
・大久保ツル（立花町東円
・亡夫幸右（工門）
・中野馨（大川内町大川
・内山亡父米作）
・池田繁信（大坪町下古賀
・亡母ヨイ）
・原一二（浜町
・岩田忠幸（大坪町祇園町
・小島秀次（黒川町浦分
・山崎右夫（松浦町下分
・亡妻キミ）
・梅木蝶（瀬戸町中通
・佐々木義幸（松島町
・亡母静子）
・亡母コマ）
・池田繁信（大坪町下古賀
・亡母ヨイ）
・岩田忠幸（大坪町祇園町
・小島秀次（黒川町浦分
・山崎右夫（松浦町下分
・亡妻キミ）
・梅木蝶（瀬戸町中通
・亡母シマノ）
・亡母シマノ）
・伊達荒次郎（山代町久原
・秀坂春美（立花町西円
・亡母古川シヅエ）
・亡母古川シヅエ）

◆香典返しを寄付
・参万六千百拾円 教法寺
門信徒一同（親鸞聖人生誕
会の折の寄付及びチャリテ
イバザー益金を）
教育振興奨励基金へ

◆香典返しを寄付
・川原由子（東山代町日尾
・亡父敏正）
・川原隆一（大川内町岩谷
亡父幾治 大川内小指定）
・高森美代子（二里町川東
亡夫正彦 二里小指定）
◆篤志寄付
（昭54・6・16現在）

でんでん

ダイヤル後5秒～15秒なにも聞こえない場合があります。これは交換機が相手をさがしている時間で、故障ではありません。
しばらく待つと繋がります。

無料特設人権相談

無料特設人権相談所を次のとおり開設します。

■日時 7月24日 10時～15時

■場所 東山代公民館

■担当 人権擁護委員

多久島勝次氏

法務局伊万里支局職員

税務大学校学生募集

国家公務員初級試験（税務）合格者の中から採用された人は税務大学校の学生として給与を受けながら1年間の研修を受け卒業と同時に税務署に勤務することになります。

■受験資格 昭和34年4月2日

～37年4月1日生まれの男子

■第1次試験 9月30日

■願書受付 7月11日～20日

■採用予定 九州で約190名

※願書の請求など詳しくは人事院九州事務局（☎092-431-7733）または伊万里税務署総務課（☎③3147）へ。

次のかたからご寄付をいたしました。厚くお礼申上ります。（敬称略）

◆篤志寄付
・壹万七千七百円 人形劇
社会福祉協議会へ

◆篤志寄付
・壹万円 幸松虎夫（山代町東分
亡母ヤス）

◆篤志寄付
・武万円 草場伸枝・良枝
（新天町）期限満了の拾得
金を大坪小剣道部へ）

◆篤志寄付
・壹万円 交通遺児救済基金へ
代町長浜（お見舞返しを）

◆篤志寄付
・壹万円 体育振興奨励基金へ

◆篤志寄付
・拾万円 杉本正幸（東山
代町長浜（お見舞返しを）

◆篤志寄付
・壹万円 中島紘一（新天
町六五四）

◆篤志寄付
・壹千円 灰崎重雄（黒川
町塩屋）期限満了拾得金を）

◆篤志寄付
・壹万円 大坪地区社会教育
振興資金へ

◆篤志寄付
・壹万円 中島紘一（新天
町六五四）

◆篤志寄付
・壹千円 灰崎重雄（黒川
町塩屋）期限満了拾得金を）

◆篤志寄付
・壹千円 吉野安雄（立花町西円
亡妻秋代）

◆篤志寄付
・壹千円 黒川町明るい町づくり
推進資金へ

◆篤志寄付
・壹千円 小島秀次（黒川町浦分
亡妻キミ）

◆篤志寄付
・壹千円 川原勝美（二里町吉野
亡父三太夫）

◆篤志寄付
・壹千円 丸岡清（二里町川東
亡母シマノ）

◆篤志寄付
・壹千円 丸岡清（二里町川東
亡母シマノ）



ありがとうございました

こどものページ

歴史散歩

こしだけ

腰岳と黒曜石

古代人の狩

静かな森に、突然けたたましく物をたく音や掛け声が響きわたりました。その音に驚いた野ウサギが森の中を一目散に駆けだした時、どこからともなく、矢がするどい勢いで続けざまに飛んできます。ウサギは宙高く跳ね上がるとバッタリ倒れ動かなくなりました。

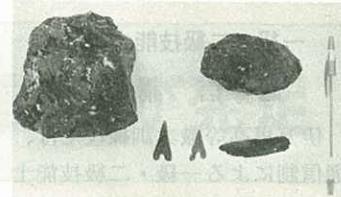
「オオーッ」と歎声があがり、木かけから手に弓や槍をもったたくましい男たちが駆け寄ってきて、ウサギにささった矢をぬきました。1人の少年が「命中した矢はぼくのだ。この矢じりはぼくが作ったものだ。」と目をギラギラ輝かせながら、うれしそうに言いました。

その鋭い矢じりは、腰岳でとれる黒曜石を加工して作られたものでした。

ほかの男たちは、草むらに消えた大切な矢を探しています。



▲黒曜石の原産地 腰岳全景



▲黒曜石と矢じり

いしゃり いしきじ じんき
の石槍・石匙・刃器・矢じり
などが発掘されています。また
北九州や山口県、遠くは韓國からも出土しており、広く海外とも交流していたことが立証され
矢じり文化の中心として栄えていたことがうかがえます。

繁栄と衰退

このように繁栄した伊万里の地も、弥生時代になると、これまでの生活必需品の原料であった黒曜石は、銅や鉄の生産技術の発達で見捨てられ、矢じり文化の滅亡とともに、文化の中心としての役割も終わり、衰退の途をたどったのではないかと思われます。長い間、腰岳を中心として文化の地として、また、伊万里湾を活用した海洋民族として栄えた伊万里が、たとえ時代の流れとはいえ、簡単に文化の中心地から見放されることはないと思いますが、縄文時代に比べると弥生遺跡が割合に少ないのはなぜでしょうか。

今日の社会でも、エネルギー革命で石炭産業が斜陽化となって、炭鉱が次々と閉山し苦しい時代があったように、その当時も同じような現象があったのかも知れません。

遠い、私たちの祖先も、世の中の移り変わりにはんろうされながらも、強く生きぬいてきた姿が目に浮かぶようです。

…この話は、まだ、今のように銅や鉄などの金属類が使われていない石器時代から縄文時代の狩のようすを想像して書いたものです。この中に出てくる腰岳の黒曜石で作られた矢じりのことについて、皆さんと一緒に勉強してみましょう。

腰岳と矢じり文化

石器・縄文時代の「宝の山」といえば、皆さんはどんな山を想像しますか。銅や鉄などの金属類がない時代の生活に必要な道具は、石や土、木などで作られており、なかでも武器や刃物には石が使われていました。

そこで人々は、より硬い、より鋭い細工のできるガラス質の黒曜石を珍重しました。

西日本随一の黒曜石の産地をほてる腰岳は、その当時は「宝の山」だったにちがいありません。

黒曜石は、その一端をたたき衝撃を与えると、よく切れる刃物に似た数片の裂片ができる、それを加工したナイフ形の石器を石刀と言いますが、腰岳山麓の鈴桶や平沢良遺跡などから黒曜石で作られた、たくさ